

経済同友会 若手経営者参加促進委員会
ノミネートメンバーの決定と活動について
「経済同友会 2.0」の実現に向けた組織運営改革

『ノミネートメンバー制度』＝若手経営者や起業家の参加促進制度

1. 目的:

- 若手経営者や起業家等の中で、経済同友会の理念に共感し、本会の価値向上にむけて共に活動していただける個人に、ノミネート方式により正会員とは別の枠組みで関心のある分野への参加を依頼する。
- 経済同友会の活動に実際に参加してもらうことにより、若手経営者や起業家等に、本会の組織や活動の特徴が伝わりやすくなることが期待できる。
- ノミネートメンバーを通じて、まだ経済同友会に参加していない若手経営者や起業家層にも本会の活動が広く伝わり、活動に呼び込む起爆剤になることも期待できる。
- 本取り組みは、「テラス」の活動の一環とするが、同時に将来の会員の発掘にも繋げる。

2. ノミネートメンバーの主な活動 ※ 会員制度とは別の枠組みとする。

【1】経済同友会の正規活動の一部に参加

(1) 個々人の得意な分野での活動:

・政策委員会の副委員長として活動する。

・政策委員会の「委員」として活動する。

(2) 全会員対象の会合への参加活動:

①通常総会・懇談会

②会員セミナー

③新年会員懇談会・会員懇談会

④海外ミッション:派遣趣旨によっては メンバーとして参加

⑤シンポジウム等:企画趣旨によっては パネリストとして登壇

【2】ノミネートメンバー限定の特別プログラム

- ・若手経営者参加促進委員会が企画・主催する特別プログラムに参加する。

代表幹事・副代表幹事等の幹部との懇談会 等

【3】ノミネートメンバーの全会員対象会合での講演活動

- ・全会員対象会合の場で、自身の社業・経営哲学・先進的なビジネスモデルなどについて講演いただく。

3. 活動期間 2年間に限定 活動終了後は、正会員への入会を相談する。

4. 費用負担 10万円／年 (飲食代・出張費は別途負担)

■ 若手経営者・起業家(ノミネートメンバー)募集・選考要領 ■

【参考】

1. 募集人数 :10名程度

2. 推薦人数 :一人2名以内

3. 募集期間 :2018年10月1日～10月31日まで

4. 推薦基準 :(1)企業の代表者(代表取締役)

・ベンチャー企業の創業代表者

・グローバルニッチな競争力のある企業の代表者

(2)年齢 40代前半までを目安とする。

(3)企業業績 年間売上高 10億円を目安とする。

上場・未上場、黒字・赤字は問わない。

(4) その他

・一企業や特定の業種の利害を超えて日本の経済社会の健全な発展のために貢献しようという熱意のある方

・経済同友会活動に積極的に参加いただける方

※当該法人から過去に本会へ参加実績がある場合は対象外

5. 候補者募集にあたっての推薦権者:

(1)代表幹事、副代表幹事、専務理事、常務理事

(2)若手経営者参加促進委員会 委員

《推薦にあたっての留意事項》

被推薦者への事前連絡は不可。

6. 選考方法 :

(1) 推薦者による推薦書と一般公開情報(企業情報やご本人に関する情報)を拠り所とし、若手経営者参加促進委員会において選考、決定する。(隔年度1回)

(2) 候補者の選考にあたっては、推薦者の氏名は伏せて選考する。

7. 選考スケジュール:2018年度

・募集期間 :2018年10月1日～10月31日

・選考・決定 :2018年12月～2019年3月

・本人への通知・意思確認 :2019年2月～3月

※ノミネートメンバーの活動開始:2019年4月/政策委員会活動は5月～

経済同友会 2018 年度 若手経営者参加促進委員会

(敬称略)

委員長	車 谷 暢 昭	(東芝 取締役代表執行役会長 CEO)
副委員長	稲 野 和 利	(野村ホールディングス 顧問) (経済同友会 会員委員会 委員長)
	横 尾 敬 介	(経済同友会 副代表幹事・専務理事)
委 員	秋 池 玲 子	(ボストン コンサルティング グループ シニア・パートナー&マネージング・ディレクター) (経済同友会 2.0 を実践推進する PT 委員長)
	岩 瀬 大 輔	(ライフネット生命保険 取締役会長)
	高 島 宏 平	(オイシックス・ラ・大地 取締役社長)
	間 下 直 晃	(ブイキューブ 取締役社長 CEO)
	南 壮一郎	(ビズリーチ 取締役社長)
	吉 松 徹 郎	(アイスタイル 取締役社長兼 CEO)

以上 9 名